

昭和二十二年六月十二日 (第三種郵便物認可)
令和五年十月十三日発行 (毎月一回十三日発行)

定価 五〇〇円

第985号

龍

跳

第七十九卷

11

月号

高知
龍跳書道会

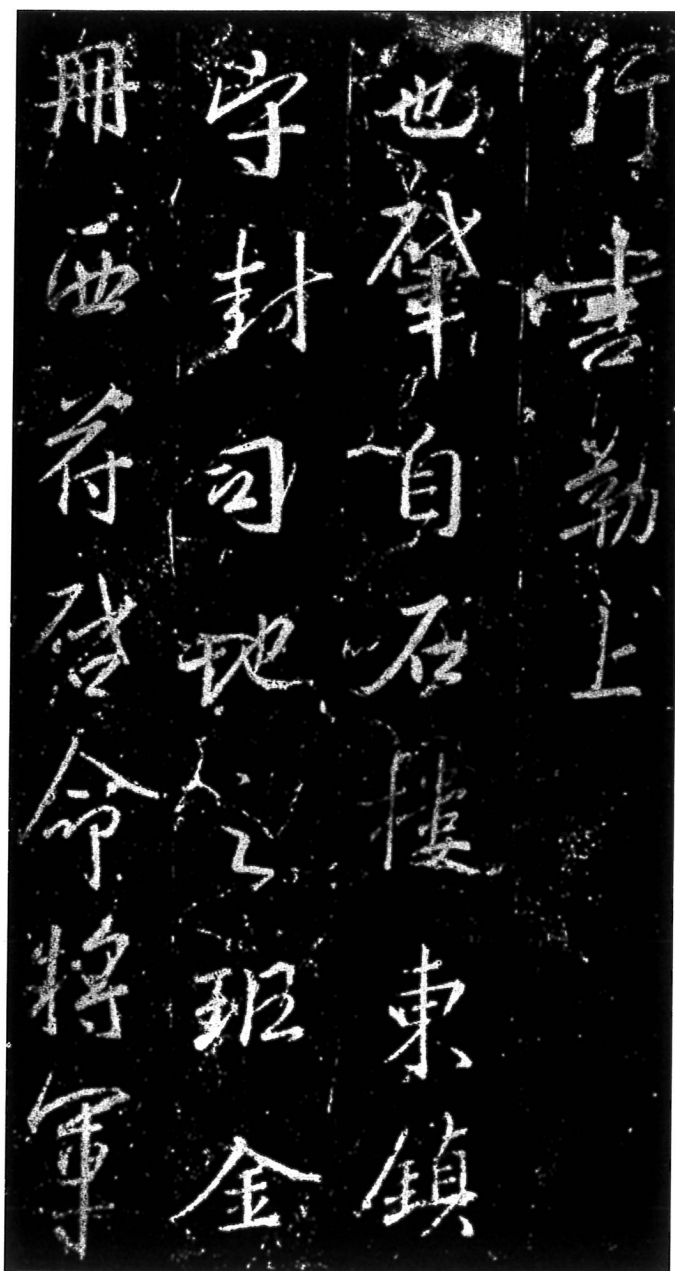
町
田
碧
峰
書



牡丹一輪

興福寺斷碑

王羲之



行書勒上也肇自石樓東鎮守封司地之班金冊西符啓命將軍

興福寺断碑

王羲之

中国では、唐代以後、明代頃まで、王羲之の字を集めて碑を造ることが盛んに行われた。

今では、その殆どは見ることができないが、興福寺断碑は集字聖教序と並び、現存する集字碑中の逸品として特に有名である。

その書風は、聖教序の謹嚴、精妙な趣とはやや異なり、温和にして悠揚、高逸な響きの中に朴雅の味わいをも持つている。

梅川桂龍書



月へひとりのはあけとく

山頭火の句
時 龍 画

山頭火の句

深瀬緑堂書

江曠春潮白山長曉岫青他鄉臨眺極花柳映邊亭
鄉於眺極花柳映邊亭

深瀬
緑堂
書



江曠春潮白山長曉岫青他鄉臨眺極花柳映邊亭

梅
川
桂
龍
書

好鳥不妨眠

好鳥こうちよう
眠りねり
を妨げずをさまたけず

10月20日縮切

梅
川
桂
龍
書

世
味
門
常
掩

世^{せい}味^み
門
常^{じょう}に
掩^{おほ}い

11月20日締切

福
原
曉
雲
書

醉裏天真

すいりてんしん
たの
醉裏天真を楽しむ

福
原
曉
雲
臨

符
啓
命
將
軍

符
啓
命
將
軍

岡林邦心臨

少長似屠已冷似惟清姓
何如定衆推節擬昭命

邦心臨

江西澄翠書

開門納月來步景
滴露研朱哺桂陰

澄翠書

吉 永 光 翠 臨

寒陽野老漁竿客不
愛紛紛羊愛泉石

光 翠

岡 本 空 仁 書

中秋月淨出浩海半
根霞寒中碧天

空 仁 書

渴仰望中竟也仁
王維不備清冰

門田惠子

封弟叔振鐸于曹國田氏
焉秦漢之際曹衆矣

廣峰

將去春里美矣也

田中平美

美峰

觀自在菩薩行深般

若波羅蜜多時

弘田賀峰

神武天眩光下激鴻臚初唱

第一聲白面郎年六

宏子

丸田宏子

弘田賀峰

中平美峰

小笠原廣峰

門田惠子

孤星相友回也偶
然去也

江月

胃中惡不欲食積日
五日来小恙七日王義白

紅花

若造去低耳松栢

藤詩者相耳善

鎌倉春葉

可憐一點終不易拉駕

殷勤尋漫仕

坂本碧香

觀自在菩薩行深般

若波羅蜜多時

眉州

田村眉州

坂本碧香

鎌倉春葉

岩谷紅花

佐竹江月

条幅当選作品

梅 川 桂 龍 選 評

★天位

門田恵子君⇨雅味あり、風格あり、言うことなし。

小笠原廣峰君⇨この作揺ぎ無く落款まで貫通の作。

中平美峰君⇨秋の空のように澄み切った爽やかさがある。

弘田賀峰君⇨非常に真面目な書きぶり、落ち着きあり。

丸田宏子君⇨緻密な筆の動きがあり、楽しめる作。

★地位

佐竹江月君⇨大胆な動きで流れ良し。

岩谷紅花君⇨手馴れた筆致で充実の作。

鎌倉春葉君⇨書譜の臨、一作として良くまとめている。

★人位

坂本碧香君⇨線質に魅力あり、益々ご加勉を。

田村眉州君⇨気負いなく淡々と臨し落ち着きあり。

作品は毎月20日必着
(必ず守って下さい)

▷ 次回審査会 ◁

10月の審査は22日（日曜）午前9時30分に開始
します。審査会場は**高知城ホール**です。

審査会終了後（12時～）条幅勉強会を行います。希望の
方は、筆、墨、墨入れをご持参下さい。（参加料500円）

花竹

情意

中学一年課題
廣末幽念書

天下
泰平

11月20日締切

高理想

小学五年課題

隅田亘心書

星の
世界の

11月20日締切

月世
の界

小学三年課題

大原桂園書

外交

11月20日縮切

きく

小学一年・ようち・ほいく課題

市原處艸書

ひと

11月20日締切

学校名									
六年									
級段									
氏名									

人間がみんな人間らしい生き方ができる社会、それだけでなく、動物も植物も、たがい

いに心が通い合うような世界

が、宮沢賢治の夢であり、追

い求めた理想だった。

学校名										
五年										
級段										
氏名										
	や	雪	と	他	ま					
	ん	げ	目	の	た	あ	の	市		
	と	た	を	お	は	の	店	の	帰	
	な	は	や	客	に	の	前	に	り	
	ら	、	る	に	ま	の	を	、		
	ん	朝	と	ぎ	れ	通	り	お	み	
	で	と	、	て	、	ま	し	つ	さ	
	い	同	赤	ち	ら	り	た	ん	は	
	ま	じ	い							
	す	所	つ	ま						
	。	に	皮	の						
		、	ち							
		ち								

学校名							
年							
級段	四						
氏名							
	た	ち	そ	か	ご		
	く	よ	ば	ら	ん	兵	
	な	い	へ	飛	は	十	
	つ	と	か	び	、	が	
	た	、	け	出	ぴ	い	
	の	い	つ	し	よ	な	
	で	た	け	て	い	く	
	す	ず	ま	、	と	な	
	。	ら	し	び	草	る	
		が	た	く	の	と	
		し	。	の	中	、	

小学三年課題
野中恵花 書

学校名	大豆がそれほど食べら	れていること、意外と	知られていません。いろ	ろな食品にすがたをか	えていることが多いので	気づかれないのです。
三年						
級 段						
氏 名						

がっこう					
	人	る	じ	あ	
	に	よ	ゅ	な	学
二	知	う	ん	た	校
ねん	ら	に	じ	が	で
きだ	せ	書	よ	し	の
ゆう	ま	き	が	た	一
なまえ	し			こ	日
	よ	家	分	と	を
	う。	の	か	の	

がっこう				
	し	り	り	
	た	上	も	チ
一	。	げ		口
ねん		て	こ	は、
きだ			え	
ゆうん		い	を	ま
なまえ		い		え
		ま	は	よ

がっこう				
ほ ねん	す	そ	ゆ	あ
	い	ら	う	か
だ ん き ゆう	す	を	や	と
なまえ	い		け	ん
	と			ぼ

〈お知らせ〉

★第77回 県展（書道の部）

会期・10月7日（土）～10月22日（日）

午前9時～午後5時（最終日は午後4時まで）

会場・かるぼーと

★高知選抜書展

会期・10月29日（日）～12月3日（日）

午前9時～午後5時

（休館日・月曜日）

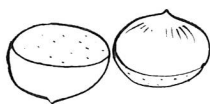
会場・安芸市立書道美術館

★第45回 畫心会書展

会期・11月17日（金）～11月19日（日）

午前9時～午後5時（最終日は午後4時まで）

会場・須崎市立文化会館



可 餘花猶 醉 宏子乙	可 餘花猶 醉 美賀舟	可 餘花猶 醉 長分文	可 餘花猶 醉 長分文	可 餘花猶 醉 長分文	可 餘花猶 醉 長分文	可 餘花猶 醉 長分文	可 餘花猶 醉 長分文
可 餘花猶 醉 宏子乙	可 餘花猶 醉 宏子乙	可 餘花猶 醉 宏子乙	可 餘花猶 醉 宏子乙	可 餘花猶 醉 宏子乙	可 餘花猶 醉 宏子乙	可 餘花猶 醉 宏子乙	可 餘花猶 醉 宏子乙
可 餘花猶 醉 宏子乙	可 餘花猶 醉 宏子乙	可 餘花猶 醉 宏子乙	可 餘花猶 醉 宏子乙	可 餘花猶 醉 宏子乙	可 餘花猶 醉 宏子乙	可 餘花猶 醉 宏子乙	可 餘花猶 醉 宏子乙
可 餘花猶 醉 宏子乙	可 餘花猶 醉 宏子乙	可 餘花猶 醉 宏子乙	可 餘花猶 醉 宏子乙	可 餘花猶 醉 宏子乙	可 餘花猶 醉 宏子乙	可 餘花猶 醉 宏子乙	可 餘花猶 醉 宏子乙

(一・二段目) 前田秀華 選評
 容舟君 自然な運筆で品格あり。
 里華君 末端まで行き届いて充実し
 ている。
 枝雪君 素朴として強い筆圧。
 美賀君 素朴で線が伸びている。
 宏子君 線質に味わいあり。
 智子君 整正にしてよく安定してい
 る。

(二・三段目) 廣末幽念 選評
 世津君 温和な作。線に丸みあり良
 康華君 伸びやかな線質で明るい作。
 広人君 堅実な書きぶりで温和な作。
 惠泉君 運筆良くのびのび書けてい
 る。

(三・四段目) 塚地桂峰 選評
 仁実君 堂々とした作。
 心春君 伸び伸びとした明るい作。
 英子君 やさしく真面目な作。
 美香君 力強く安定した作。
 久美子君 真面目な作。まとまつて
 いる。

由美君 伸びやかな線がすばらしい。
 (四段目) 野島桂山 選評
 志津君 作品は立派。落款は左横に。
 美枝君 堅実な書きぶりに好感がも
 てる。
 可奈君 落ちつきのある線で安定し
 ている。

集賢林

宏子

周茂理

之

漢之際

曹參

神武天

宏子

神武天

宏子

菊酒除

不祥

隆文粗

傳松

介所記

殊種

望不痛

裁每

菊酒除

不祥

少為郡

吏隱

吳江垂

虹亭作

神武天

宏子

道崇虞

乘幽控

子出

粗傳

神武天

宏子

神武天

宏子

菊酒除

心祥

神武天

宏子

九月庚

午朔

(一・二段目) 福原曉雲 選評
極山君 蜀素帖臨、安定した老練作。

空仁君 半紙に映り良し。

洋堂君 上品な作。あと起筆、収筆に心配を。

宏子君 少し変わった蘭亭だが流れがよい。

喜泉君 流れるように力強い作です。

江月君 柔らかい線質で明るい、落款位置は左中へ。

(二・三段目) 岡崎緑水 選評
眉州君 自然な流れの中に強弱もあり佳。

絢子君 形、流れ共に良いが、少々早書きの感あり。落款は雅号で。

悠道君 聖教序を丁寧な臨しているが下部少し窮屈感あり。

多嘉君 墨色良く作品が明るい。

広人君 曹全碑を素直に臨している。ご加勉を。

(三・四段目) 武内美仁 選評
心春君 運筆自在に流れ明快な作。

仁陽君 緩急があり、筆意たのしい作。

美佑貴君 見ごたえあり、書譜の力づきを感じ。

久美子君 形も良く、伸びやかな線で美しい。

惠美君 動き大きく、章法も巧みである。

明美君 字々明るく、力みなくよくまとめている。

(四段目) 西山極山 選評
悦枝君 力強く書いて一紙のまとまりよい。

美枝君 のびやかに書け明るい作品。

知加君 この調子でがんばって。

知加君 どの調子で書け祭姫の雰囲気あり。

長岡六千 森田千春 暮雲 思郷	上宮 静子 科学 技術	期正 林 科学 技術	張南中 井田基多 科学 技術	細久 二条文彦 暮雲 思郷	介良中 二年 小松繪夫 暮雲 思郷
六年 小松わと 空清 き里	二年 宮原之節 空清 き里	四年 西 朝雄 空清 き里	六年 安井 隆夫 空清 き里	四年 同上 重里 空清 き里	六年 横井 静子 空清 き里
五年 伊田風作 秋空 高し	新井 嶋島純 秋空 高し	清六郎 五年 宇地輝和 秋空 高し	小五 森光陽菜 秋空 高し	六年 片岡 均女 秋空 高し	六年 藤原 大天 秋空 高し
多ノ明 四年 大城リサ 秋の 山里	五年 上利 純沙 秋空 高し	五年 佐武 聖愛 秋空 高し	多郷 森岡 快晴 秋空 高し	五年 並天 仁子 秋空 高し	五年 二宮 基孝子 秋空 高し

(一段目) 中学部 佐々木港花 選評

論実君 〓 大らかでゆつたりと書いています。

風 君 〓 筆力あり。

真音君 〓 形も整い、筆力あり。

茉奈君 〓 大らかで元気もありよい。

晴陽君 〓 のびのびとしたところあり頑張つて下さい。

(一・二・三段目) 小学六年 岡林邦心 選評

千春君 〓 堂々とした作品です。

雛子君 〓 まじめな良い作品。

真里君 〓 ていねいにしつかりと書けているが「清」のバ

ランスが少し残念。

風葵君 〓 ていねいに書けて良い。

紗菜君 〓 力強い作品です。

乙羽君 〓 落ちついて書けている。

わと君 〓 明るく書けて良い。

杏実君 〓 良くまとまってる。

絢女君 〓 落ちついて書けて良い。

(三・四段目) 小学五年 大八木洋女 選評

陽菜君 〓 いつもながらの力作です。

輝翔君 〓 この調子で伸びやかに！

綜 君 〓 半紙いっぱい元気です。

風佳君 〓 落ちついて書いています。

嘉奈子君 〓 しつかり書いています。

仁貴君 〓 楽しそうに書いています。

快晴君 〓 のびのび書いています。

聖愛君 〓 力強く書いています。

綺沙君 〓 清々しい感じがします。

(四段目) 小学四年 深瀬緑堂 選評

リサ君 〓 落ちついてよくまとめています。



(一・二段目) 小学四年
 百叶君 最後まで息長く書けています。
 天冨君 元氣いっぱいがんばってとてもいい。
 さくら子君 すっきりとして、ていねいです。
 杜真君 堂々として力強い。
 り音君 まじめによくまとめました。
 蒼茉君 筆づかいが良く、すっきりしている。
 萌羽君 明るくよくまとめている。
 (二・三段目) 小学三年
 実咲君 温かい線で整っています。
 朝陽君 力強く大変良い。
 碧空君 一画一画ていねいな作品。
 美緒音君 のびのびとして良い。
 舜翔君 堂々としています。
 蘭 君 のびやかで良い。
 (三・四段目) 小学二年
 河村容舟 選評
 香花君 ていねいによくまとめられています。
 あみ君 元氣にかけています。
 みらい君 ていねいにかけています。
 かなこ君 力ぶよくかけています。
 梨衣奈君 のびやかにかけています。
 ゆうな君 おちついてかけています。
 (四段目) 小学一年・とうち・ほいく
 佐竹江月 選評
 すず君 おちついてかけています。
 れんたろう君 のびやかにかけています。
 はるま君 おもいきりよくかけました。
 いぶき君 げんきよく、かけました。
 のぞみ君 ちからづよくかけています。

浦ノ内 美島乙世花
長岡 森田 千春

波から来る光のあみが、底の白い岩の上で、美しくゆらゆらのびたり縮んだりしました。あわやごみからは、まっすぐなかけの棒が、ななめに水の中に並んで立ちました。

浦ノ内 六特 美島乙世花

波から来る光のあみが、底の白い岩の上で、美しくゆらゆらのびたり縮んだりしました。あわやごみからは、まっすぐなかけの棒が、ななめに水の中に並んで立ちました。

長岡 小六 森田 千春

波から来る光のあみが、底の白い岩の上で、美しくゆらゆらのびたり縮んだりしました。あわやごみからは、まっすぐなかけの棒が、ななめに水の中に並んで立ちました。

長岡 六 九 安井 風葵

波から来る光のあみが、底の白い岩の上で、美しくゆらゆらのびたり縮んだりしました。あわやごみからは、まっすぐなかけの棒が、ななめに水の中に並んで立ちました。

越知 空 八 米澤 知那

浦ノ内 寺田 澤
新莊 鍋島 綜

大造じいさんが手をのびしても、残雪は、もう、じたばたさわきまさんでした。最期のときを感じて、頭領としてのいげんをきずつけまいと努力しているようでした。

浦ノ内 六 五 寺田 澤

大造じいさんが手をのびしても、残雪は、もう、じたばたさわきまさんでした。最期のときを感じて、頭領としてのいげんをきずつけまいと努力しているようでした。

新莊 五 特 鍋島 綜

大造じいさんが手をのびしても、残雪は、もう、じたばたさわきまさんでした。最期のときを感じて、頭領としてのいげんをきずつけまいと努力しているようでした。

浦ノ内 五 加 宮地 輝翔

大造じいさんが手をのびしても、残雪は、もう、じたばたさわきまさんでした。最期のときを感じて、頭領としてのいげんをきずつけまいと努力しているようでした。

一橋 五 八 氏原 一乃

浦ノ内 矢野 蒼真
須崎 川西 桜空

大造じいさんが手をのびしても、残雪は、もう、じたばたさわきまさんでした。最期のときを感じて、頭領としてのいげんをきずつけまいと努力しているようでした。

浦ノ内 五 八 矢野 蒼真

大造じいさんが手をのびしても、残雪は、もう、じたばたさわきまさんでした。最期のときを感じて、頭領としてのいげんをきずつけまいと努力しているようでした。

須崎 五 二 川西 桜空

秋になりました。あんなに青々としていたなみ木の葉も、いつのまにか黄色に色づいています。

上分 小四 七 梅原 百叶

秋になりました。あんなに青々としていたなみ木の葉も、いつのまにか黄色に色づいています。

須崎 四 六 松田 菜乃

長岡 竹内ひな子
浦ノ内 森田 葵

秋になりました。あんなに青々としていたなみ木の葉も、いつのまにか黄色に色づいています。

長岡 小四 五 竹内ひな子

秋になりました。あんなに青々としていたなみ木の葉も、いつのまにか黄色に色づいています。

浦ノ内 四 四 森田 葵

秋になりました。あんなに青々としていたなみ木の葉も、いつのまにか黄色に色づいています。

上分 小四 三 政岡 桃加

休み時間に、校庭のいく小屋に行ってみました。近づいていくと、キリンキリン、つづけさまに鳴りだした。うさぎたちがしゃべり始めたのだ。

長岡 小三 六 森田 実咲

長岡 安井 風葵
越知 米澤 知那

浦ノ内 宮地 輝翔
一ツ橋 氏原 一乃

上分 梅原 百叶
須崎 松田 菜乃

上ノ加江 政岡 桃加
長岡 森田 実咲

すさき 谷脇 愛来
浦ノ内 宮地 舜翔

休み時間に、校庭のし
いく小屋に行つてみた。
近づいていくと、チリン
チリン、つづけさまに鳴
りだした。うさぎたちが
しゃべり始めたのだ。
すさき三・五・六・谷脇 愛来

休み時間に、校庭のし
いく小屋に行つてみた。
近づいていくと、チリン
チリン、つづけさまに鳴
りだした。うさぎたちが
しゃべり始めたのだ。
浦ノ内三・四・五・宮地 舜翔

休み時間に、校庭のし
いく小屋に行つてみた。
近づいていくと、チリン
チリン、つづけさまに鳴
りだした。うさぎたちが
しゃべり始めたのだ。
須南三・三・三・田中 碧空

休み時間に、校庭のし
いく小屋に行つてみた。
近づいていくと、チリン
チリン、つづけさまに鳴
りだした。うさぎたちが
しゃべり始めたのだ。
須崎 田中 碧空
目下 井川こはく

すさき 毛利 香花
すさき 田村 さ雪

おまつりは、こん
どの土曜日です。お
まつりに行つたら、お
まつり、大きなやぐら
も見てください。
すさき二・四・五・毛利 香花

おまつりは、こん
どの土曜日です。お
まつりに行つたら、お
まつり、大きなやぐら
も見てください。
すさき二・三・四・田村 さ雪

おまつりは、こん
どの土曜日です。お
まつりに行つたら、お
まつり、大きなやぐら
も見てください。
浦ノ内三・三・三・田中 碧空

おまつりは、こん
どの土曜日です。お
まつりに行つたら、お
まつり、大きなやぐら
も見てください。
すさき二・三・四・田村 さ雪

上ノかえ よしはらあや人
すさき 金どう すず

おまつりは、こん
どの土曜日です。お
まつりに行つたら、お
まつり、大きなやぐら
も見てください。
すさき二・三・四・よしはらあや人

おまつりは、こん
どの土曜日です。お
まつりに行つたら、お
まつり、大きなやぐら
も見てください。
すさき二・三・四・金どう すず

おまつりは、こん
どの土曜日です。お
まつりに行つたら、お
まつり、大きなやぐら
も見てください。
すさき二・三・四・金どう すず

おまつりは、こん
どの土曜日です。お
まつりに行つたら、お
まつり、大きなやぐら
も見てください。
すさき二・三・四・金どう すず

いけ川 かたおかさゆき
浦ノ内 宮地 舜翔

かたおかさゆき
いけ川 かたおかさゆき

かたおかさゆき
いけ川 かたおかさゆき

かたおかさゆき
いけ川 かたおかさゆき

かたおかさゆき
いけ川 かたおかさゆき

– 34 –

出品票の名前は楷書ではっきり書いて下さい。

★四級 須崎 〇松坂美枝 須崎 〇橋本和世 ★五級 馬路 〇久保可奈 馬路 〇金子知加 馬路 〇井上由利子 馬路 〇川内みさ ★六級 馬路 〇清岡奈津子 馬路 〇芝 沙織 ★師範 審查 福原 曉雲 隨意 岡本極山 岡本空仁 浜崎洋堂 江里華 野中恵花 弘田紅峰 水田紅心 岡林邦心 深瀬綠堂 野島桂山 西内仁子 中平美峰		河村容舟 市原處艸 中平幸仙 大八木洋女 矢野峰臣 奥堂皓月 ★準師範 丸田宏子 天野喜泉 佐竹江月 森光望春 氏原美泉 大平圭子 別役美佐 井口花道 岩崎竹山 桑原智子 萩野羽花 吉田深美 山本恵歩 平井桂草 松浦明子 田村和子 大野美賀 戸田孝北 藤原紫陽 山崎春風 山中紅風 小野山美喜 高橋桜芳 西村芳香 横山桂華	
門田恵子 池 芳春 岡田雄山 審查 岡崎 緑水 ★六段 田村眉州 坂本絢子 伊吹悠道 岩谷紅花 松本世津 岡村妙慧 岩村 祥 橋本祝子 山川百合 山下玉泉 鎌倉春葉 利谷喜子 中沢里花 ★五段 笠原多嘉 小笠原広人 大井 淳 岡林 翠 濱田幸子 浪上理奈 鈴木輝代 ★四段 高橋翠園 久保地初恵 西森啓助		濱田順子 山崎隆志 審查 武内 美仁 ★三段 山本心春 西岡仁陽 横田仁実 坪内倫子 杉本美邦 ★二段 森澤美佑貴 林 隆光 ★初段 吉村久美子 和田恵美 西尾明美 前田伸枝 市川美香 松島利恵 高橋由美 審查 西山 極山 ★一級 小松悦枝 駒崎真実 濱田美恵子 川崎志津	
★四級 〇松坂美枝 〇橋本和世 〇印は昇級 第880回毛筆成績 中学部 審查 佐々木港花 二年 ★特待生 介良 小松諭実 朝ヶ丘 黄之瀬胤 ★九段 南 竹内雄星 一年 ★特待生 須南 前田真音 朝ヶ丘 橋田茉奈 ★九段 朝ヶ丘 松浦由奈		★五級 〇金子知加 〇井上由利子 ★八段 上分 植村晴陽 毛筆六年 審查 岡林 邦心 ★特待生 長岡 森田千春 ★九段 岡豊 岡上真里 長岡 安井風葵 長岡 猪野雛子 ★七段 須崎 谷口彩心	
★六段 岡豊 西田紗菜 池川 藤原乙羽 ★四段 馬路 小松わと ★一級 別府 藤原杏実 越知 片岡絢女 ★七級 越知 〇米澤知那 池川 〇鈴木悠斗 毛筆五年 審查 大八木洋女 ★九段 多ノ郷 森光陽菜 ★八段 浦ノ内 宮地輝翔 新莊 鍋島 綜 ★七段 長岡 押岡風佳			

★六段 長岡 二宮嘉奈子 長岡 高芝仁貴 多ノ郷 森岡快晴 上分 朝比奈来夢 ★二段 別府 庄武聖愛 馬路 上利綺沙 ★一級 附属 三本晴士 毛筆四年 審査 深瀬 緑堂 ★七段 多ノ郷 大城リサ ★六段 上分 梅原百叶 須崎 松田菜乃 上分 小松のぞみ 須崎 谷口桜心 ★五段 多ノ郷 橋田天牙 長岡 宮脇改太 須南 前田来音	★四段 長岡北村さくら子 岡豊 島村倅空 岡豊 西宮咲希 ★三段 池川 藤崎杜真 上分 田なべり音 須崎 田村拓海 上分やなぎ本きい 長岡 竹内陽南子 ★二段 吾桑 梅原蒼葉 岡豊 田所萌羽 ★初段 岡豊 中司こころ ★五級 別府 ○後藤 樹 毛筆三年 審査 奥堂 皓月 ★六段 長岡 森田実咲 小高坂 川西康介	★五段 夜須 西村朝陽 ★四段 佐古 田村けんご ★三段 須南 田中碧空 吾桑 松坂美緒音 吾桑 高橋そら 長岡 永尾まとい 須崎 谷脇愛来 須崎 金堂莉李 須崎 津野聖佳 馬路 小松太緒 ★二段 浦ノ内 宮地舜翔 ★初段 夜須 清藤 蘭 吾桑 吉門蒼馬 ★一級 長岡 西内明利 ★三級 長岡 溝淵蒼功	★四級 吾桑 ○宮崎穂花 ★五級 長岡○小笠原 湊 ★八級 奈路 ○植野 新 もうひつ二年 審査 河村 容舟 ★四段 須崎 毛利香花 須南 西村太希 ★三段 須崎 領本あみ 須崎 田村さゆき 浦ノ内 正木芳尚 ★二段 上分 うめばらみらい ★初級 長岡 竹内伽菜心 長岡 押岡息吹 岡豊 島村心通	多ノ郷 太田朋希 池川 藤崎菜央 長岡 猪野光騎 ★二級 多ノ郷森光梨衣奈 ★三級 長岡 宮脇治太 ★九級 吾桑○長山ゆうな もうひつ一年 審査 佐竹 江月 ★二段 須崎 金堂すず ★初段 多ノ郷 森光れんたろう 須南 宮本はるま 上分 よしむらはるか ★五級 多ノ郷はしだかほ	★六級 上分はしだいちか 朝倉 根口このは ★七級 吾桑○高橋いぶき しんじょう なかじまあやと ★八級 須南 ○田中ここ 奈路 植野 葵 須崎 谷口きずな ★九級 上分 たかはしほなみ もうひつ ようち・ほいく ★三級 吾桑○松坂のぞみ ★新規 上分 九級編入 なかじまゆいと
---	--	---	--	--	--

低学年の生徒名も5字迄に。出来るだけ漢字を使用して下さい。

第679回硬筆成績

○印は昇級

こうひつ
硬筆六年

審査 江西 澄翠

★特待生

浦ノ内 美島乙世花

長岡 森田千春

久礼 中平千友

浦ノ内 宮本心太

須崎 谷口彩心

★九段

長岡 安井風葵

浦ノ内 岡本大陸

長岡 猪野雛乃

浦ノ内 池田穂乃介

須崎 久保田湧乃介

★八段

越知 米澤知那

越知 片岡絢女

岡豊 岡上真里

★五段

浦ノ内 寺田 滯

五所 濱田 梓

★四段

越知 岡田侑晟

岡豊 西田紗菜

★三段

一ツ橋 飯田桃萌

上加 後藤まなか

浦ノ内 田中日向

★初段

池川 藤原乙羽

★一級

別府 藤原杏実

★特待生

審査 江西 澄翠

新莊 鍋島 綜

多ノ郷 森光陽菜

★九段

浦ノ内 宮地輝翔

★八段

一ツ橋 氏原一乃

浦ノ内 矢野蒼真

初月 川淵結衣

長岡 押岡風佳

★七段

久礼 瀧田 奏

多ノ郷 森岡快晴

一ツ橋 戸梶愛加

★六段

藤沢 駒崎愛恵

長岡 高芝仁貴

須崎 宮本里依羽

長岡 二宮嘉奈子

★五段

南 西山あい

一ツ橋 山下斗愛

越知 大原留心

浦ノ内 森田大翔

一ツ橋 梅原勇人

一ツ橋 志磨村彩

★三段

馬路 上利綺沙

一ツ橋 吉田心花

馬路 浅野由梨

★二段

須崎 川西桜空

城東 山崎流依

須崎 持田和花

別府 川西蒼空

庄武聖愛

★初段

大谷北 大木柚杏

★二級

附属 ○三本晴士

審査 森本 寿山

★七段

上分 梅原百叶

秦 玉城遙音

多ノ郷 大城リサ

松浦結菜

★六段

須崎 松田菜乃

一ツ橋 田辺蒼月

附属 江頭咲良

上分 小松のぞみ

須崎 前田來音

★五段

長岡 竹内陽南子

一ツ橋 玉置はる

長岡 宮脇改太

久礼 森岡 虹

浦ノ内 松山 翔

長岡 北村さくら子

浦ノ内 美島希以花

久礼 窪田 菜優

浦ノ内 谷口桜心

須崎 津野凌功

多ノ郷 橋田天牙

★四段

浦ノ内 森田 葵

岡豊 西宮咲希

上分 田なべり音

越知 片岡杏璃

久礼 竹内生和

★三段

久礼 松本 かな

浦ノ内 宮崎莉緒

江ノ口 山本彩喜

浦ノ内 村垂李衣

江ノ口 下

氏 名

臨書は出典名

筆・硯・墨・古法帖・墨液・画仙紙
書道用具萬般乞来店

(株) 818 百 齋

高知市南宝永町14-18

TEL (代) (882) 1394番

夜間・TEL (882) 1392番

吾桑 梅原蒼菜 浦ノ内 安並乃愛 岡豊 島村倅空 須崎 田村拓海 浦ノ内 山岡隼士 上分やなぎ本きい	★二段	浦ノ内久保田健介 浦ノ内 森田理央 浦ノ内 岩田愛菜 上分 岩田愛菜	★初段	岡豊 中司ころ 岡豊 田所萌羽 浦ノ内 中田瑚音 藤沢 駒崎信慈	★五級	別府 ○後藤 樹	硬筆三年 こっみつ	審査 小川 理香	★六級	長岡 森田実咲	★五級	須崎 谷脇愛来 夜須 西村朝陽																									
小高坂 川西康介	★四段	浦ノ内 宮地舜翔 佐古 田村けんご	★三段	須崎 田中碧空 須崎 金堂莉李 久礼 薦田コモモ 吾桑 松坂美緒音 吾桑 高橋そら	★二段	日下 井川こはく 久礼 黒原小夏 久礼 笹岡れいと 浦ノ内 中平滯里 浦ノ内 出来あや音 上分 西森ゆうな 吾桑 宮崎穂花	★初段	馬路 栗坂明日香 上分 橋田 陸 吾桑 吉門蒼馬	★新規	十級編入 堀田瑛太	久礼 久礼	吾桑 吉門蒼馬																									
★一級	長岡 西内明利	★三級	大谷北○大木陽智 吾桑 笹岡蒼馬	★四級	長岡 ○小笠原湊 越知 大原ほのか	★五級	久礼 竹本七音	★六級	池川 ○北村日和 池川 ○片岡亜李紗 長岡 溝渕蒼功	★九級	奈路 ○植野 新	久礼 久礼	吾桑 吉門蒼馬																								
こっみつ二年	審査 市原 處艸	★四段	須崎 毛利こ花 須崎 領木あみ 須崎 須木太希 浦ノ内 正木芳尚	★三段	須崎 田村さゆき 秦 清家逢生	★二段	浦ノ内藤田いろは 浦ノ内 江ノ口下村亜弥衣 浦ノ内 池田わり人 浦ノ内 森田わか 上分 上分	★初段	長岡 押岡息吹 長岡 竹内伽菜心 多ノ郷 太田朋希 多ノ郷 森光梨衣奈 多ノ郷 島村心遥 岡豊 宮脇治太 久礼 倉下かなる 久礼 池川ゆうま	★新規	一ツ橋 梅原虹心 多ノ郷 坂本大和 越知 藤崎かの	★一級	猪野光騎	★二級	池川 ○藤崎菜央 久礼 松山まりん 吾桑 長山ゆうな	★三級	上分○吉原あや人 上分 片山ひまり 久礼 日林ゆあ	★六級	久礼 ○はま田みらい	★七級	久礼 ○田なべとうま	★八級	夜須○白石いちか 夜須○白石いまり	★九級	池川 ○片岡紗雪 池川 ○黒原りか 久礼 ○伊藤日向 しんじょう ○なかじまあやと	★初段	須崎 金堂すず	★二段	浦ノ内 徳永はやと 浦ノ内 ○岡林ゆいか 長岡 安井 颯 須崎 谷口きずな	★八級	久礼○土居かなな	★九級	須崎 田中こ	★新規	十級編入 鈴木はな	★初段	吾桑 松坂のぞみ 吾桑 梅原ゆま

(出品票) 低学年の生徒名も5字迄に。出来るだけ漢字を使用して下さい。

のり代	
5年	月
11	定
規	地
	名
	氏
	名
	段
	級

★四級	浦ノ内 ○よしおかまひろ
★五級	上分 ○はしだいちか
★六級	大間 ○坂本美咲
★九級	浦ノ内 ○みやたいと
★新規	上分 ○たかはしほなみ ふたば 後藤和葉
十級編入	附属 江頭 航
上分	なかじまゆいと

出品者のみなさんへ

- 出品票の記入は楷書で地名、氏名(姓号)を正確に書い
て下さい。
- 段位の方は朱書き、級位の方は黒書きして下さい。
- 段位は漢数字、級位はアラビア数字で書いて下さい。
- 新規出品者は級位の欄へ「新」と書いて下さい。
- 出品は各競書一点です。
- 低学年の生徒名もできるだけ5字以内にまとめて書
いて下さい。
- 落款も評価の対象になります。
- 出品票には年度と月が入っています。必ず規定のも
のを使って下さい。
- 出品票ははずれないよう、きちんとのりづけして下
さい。

のり代	
5年	月
11	意
隨	臨は出典名
	氏
	名
	段
	級



大 野 美 賀 氏



井 口 花 道 氏

この度は準師範に認定していただきまして、誠にありがとうございます。
これも岡本志峰先生の、本当に熱心で丁寧な御指導のおかげです。心より感謝しております。また、共に学び励まして下さった教室の皆様にも心より感謝しております。
これからも、書を楽しみながら努力を重ねて学んでいきたいと思っておりますので、御指導の程よろしくお願い致します。

秋草獨尋くも後寒
林虫見日斜時

この度は、準師範に認定していただきありがとうございます。
これも偏に、出間先生・市原先生のご指導のおかげだと感謝いたしております。
また、教室の岩河さんをはじめ皆様と共に学び、温かい言葉や励ましをいただきありがとうございます。
これからも、日々努力し、楽しみながら学んで行きたいと思っております。
今後共ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

無逆興掘古書同岸
憤淫朋嬖黨初

のり代	
5年 11月 毛筆	
校名	
学年	
保年	
氏名	
段級	



戸田孝北氏

のり代	
5年 11月 硬筆	
校名	
氏名	
段級	



大平圭子氏

この度は準師範に認定いただきまして誠にありがとうございました。
子供の頃に出品した作品が入賞したときのうれしさを思い出し、少しでも美しい字が書けたらいいな
と思い習い始めました。

岩河先生の家はすぐ隣ということもありいろいろと大変お世話になりました。
まだまだ未熟ですが、これからもご指導の程よろしくお願いいたします。

秋草獨尋人去後寒
林空見日斜時

この度は準師範に認定いただき、ありがとうございました。これもひとえに、佐川書道会岡本先生の丁寧で熱心な指導と会の諸先輩方の温かい励ましのお陰だと深く感謝しております。
これからも驕ることなく日々の努力を怠らず書道に向き合って参ります。
今後ともご指導の程宜しくお願い致します。

無底心可憐一點終不
易相駕殷勤尋



藤原 朱鳳 氏

準師範に認定して頂きありがとうございます。まだ信じがたい面もありますが、今迄続けられていることに幸せを感じながら書いております。
隅田先生をはじめ、いっしょにすごせる時間をもてる仲間の方のおかげです。
これからもよろしくお願い致します。

秋草獨尋人去後寒
林空見日斜時

毛筆の部



須崎中学校 二年

鍋島 祐里花

この度は特待生に選んでいただき、ありがとうございます。
私は、硬筆の方は小学五年生のときに特待生になりましたが、や
つと毛筆の方も特待生に選ばれてうれしいです。
これからは、さらに綺麗な字が書けるように頑張っていきます。

毛筆・硬筆の部



長岡小学校 六年

森田 千春

この度は特待生に選んでいただき本当にありがとうございます。
ご指導してくださった増井先生には大変感謝しております。こ
れまで学んだことを忘れずに、これからもさらにきれいな字が書
けるように努力していきます。

硬 筆 の 部



須崎小学校 六年
谷 口 彩 心

今回、特待生に選んでいただきありがとうございます。
こう筆教室に入ってから、がんばって字を書きました。
中学校に行っても、ていねいな字を書くように心がけたいと思います。
これからがんばります。



浦ノ内小学校 六年
美 島 乙世花

この度は、特待生に選んでいただきありがとうございます。
私は小学一年生から硬筆を習い始めました。初めは、字を書く事が苦手で、書く際には「上手に書けるかな。」や「綺麗な字が書けるかな。」と不安がありました。が、こうして今特待生になれたことを心から嬉しく思っています。
こうして特待生になれたのは、努力だけではなく、母や家族の協力があったおかげです。目標だった特待生になれて、とても嬉しく思います。



浦ノ内小学校 六年
宮 本 心 太

この度は特待生に選んでいただき、ありがとうございます。
最初は姉がすすめてきたことをきっかけに始めました。
姉が特待生をとるとほくもとる！という気持ちで頑張ってきました。
特待生という文字を見たりゆんかん、とてもうれしくなりました。
これからも「字をきれいに書くこと」を目ざし、精進して参ります。



浦ノ内小学校 六年
森 田 沙和良

この度は、特待生に選んでいただき、まことにありがとうございます。
私は、保育園のころから、友達がかこうひつをやっていることにあこがれて、こうひつをはじめました。
特待生になることを目指してがんばってきました。
そして今、特待生になれて、とてもうれしいです。ありがとうございます。



新莊小学校 五年
鍋 島 綜

この度は、特待生に選んでいただきありがとうございます。
ぼくは、保育園年長の時から、硬筆を始めました。
小学二年生からはサッカークラブに入ったので、サッカーと硬筆のけいこは大変でした。でもあきらめずに、硬筆を続けてやつと特待生になりました。
これからは、ノートのマスも小さくなり、はやく書かないと間に合わないこともあると思います。しかし、できるだけきれいに字を書くよう心がけたいです。



多ノ郷小学校 五年
森 光 陽 菜

今回、特待生に選んでいただきありがとうございます。私は特待生になって、とてもうれしかったです。これから、もっと字が上手になるようにがんばります。

【認定証について】

昇段、昇級された方で認定証が入用の方は、左記によりお申し込み下さい。

記

★師 範 三千円

★準師範以下一般 二千円

★学 生 一千円

(注意 申込時左記事項を必ずお知らせ下さい。)

① 昇段の年月日

② 学生は学校名と学年

③ 一般は市町村名

(申込先)ご希望の先生に要項を明記した文書で
直接お申し込み下さい。

〒七八一七四二二

安芸郡東洋町河内三〇四

龍跳書道会 福原暁雲

〒七八一三〇一

高岡郡越知町越知甲二二一七一六

龍跳書道会 梅川桂龍

連絡・問い合わせ・送り先等

・新規入会申込と会費の送金先

・「龍跳誌」冊数変更の通知先

〒781 1501 吾川郡仁淀川町大崎一三三一

隅田亘心

龍跳誌通分

龍崎口際峠

01690-3-31925

電話（〇八八九）三五〇九七一番

・月例作品の送り先

〒783 0081 南国市片山四九〇

西山極山

電話（〇八八）八六五―八八五七番

・「龍跳誌」の内容について

〒781 7412 安芸郡東洋町河内三〇四

福原曉雲

電話（〇八八七）二九―二六五〇番

・編集についての連絡先

〒785 0010 須崎市鍛冶町六一八

江西澄翠

電話（〇八八九）四二―三〇六七番

・送本についての連絡先

（冊数の相違等については当方へご連絡下さい。）

〒785 0055 須崎市大谷二〇四

野中恵花

電話（〇八八九）四七―〇七二一番

あとがき

本誌あとがきの当番が10か月ぶりに廻ってきた。昨年12月24日に書いた本年2月号のあとがき以来だ。それによるとコロナの5回目のワクチンを済ませたと書いているが、今回は7回目の接種を済ませたばかりだ。

コロナとの戦いなかなか終わらない。気を付けよう。龍跳誌10月号には、9月3日に実施された昇段試験の合格者の発表がされている。新たに準師範に5名の方々が認定され、児童・生徒の部では、毛筆で2名、硬筆で7名の特待生が生まれ、多くの人たちが昇段・昇級された。合格された皆さん本当におめでとうございます。

一方で合格が見送られた方々も少なくありません。残念でしたが、この試験を受けることでうでまゑは、確実に一歩も二歩も上がっています。自信を持って書き続け、次に備えましょう。

月例競書課題

部 別	縮切日	
	十一月二十日	十二月二十日
一般条幅	任意	任意
半紙規定	世味門常掩	時光簾已便
半紙随意	任意	任意
中学三年	花意竹情	初雪の遠山
二年		
一年	天下泰平	古代文明
小学六年	高い理想	福引き券
五年	星の世界	寒い北国
四年	月の世界	火の用心
三年	外	市
二年	き	ふ
一年	ひ	つ
保 育	と	る

月例作品送り先

〒783-0081 南州市片山四九〇

西山極山 宛

電話 (088) 865-18857

会 費 の 送 金 に つ い て

会 費 ：半年分 3,000円 / 1 年分 6,000円

1ヶ月の龍跳誌郵送料

(幸便搬送の方は〒料不要)

11冊以上は次の計算による。(1ヶ月分)

①	1冊～3冊	80円
②	4冊～8冊	150円
③	9冊・10冊	210円

〈例〉 12冊 ③+①=290円×月数

17冊 ③+②=360円× "

30冊 ③×3=630円× "

◎会費と龍跳誌〒料は原則として半年分または1年分前納のこと。

◎送金は次の何れかへ

・〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎133-1 隅田亘心
・振替口座番号 01690-3-31925 龍跳書道会
(お問い合わせ) ☎0889-35-0971

○月号 (○冊) より○月号まで○ヶ月分
誌代 ○円 / 〒料 ○円

と記入のこと。

編集室 福原 暁 雲

野 島 桂 山

江 西 澄 翠

中 平 美 峰

発行人 福原 暁 雲 (本部)

安芸郡東洋町河内三〇四

電話 (〇八七) 二九一六五〇

発行所 龍跳書道会

電話 (〇八七) 二九一六五〇

印刷所 (有)笹岡印刷所

須崎市東古市町二一六

電話 (〇八九) 四二〇二四四